



誠実 勉学 健康

ゆめ は え

# 夢南風

令和7年5月23日発行  
鹿児島市立河頭中学校  
鹿児島市犬迫町1168  
Tel 099-238-2663

生徒数 合計85名  
1年31名, 2年24名, 3年30名

## 「考えるということ」

校長 湊脇 広智

4月, 生徒たちに「Next One」今がよいからではなく, 日々次を目指してほしい, 人として生きるために大切なことは, 「まずは自分で考える」ことについて話をしました。考えることは, 私たちの日常生活や学びにおいて非常に重要な役割を果たしているからです。具体的には, 主に次の4項目が考えられます。



### 1 問題解決能力の向上

考えることは, 問題解決能力を向上させます。例えば, 教科等の問題を解くとき, ただ答えを覚えるのではなく, どのようにしてその答えにたどり着くのかを考えることが大切です。考えることで, 問題の本質を理解し, 更に応用力を身に付けることができます。

### 2 創造力の発揮

考えることは, 創造力を発揮するための鍵です。例えば, 絵を描くときや物語を作るとき, 自分の頭の中でアイデアを膨らませることが必要です。考えることで, 新しいアイデアや視点を見つけることができ, 創造的な活動がより豊かになります。

### 3 自己理解の深化

考えることは, 自己理解を深める助けにもなります。例えば, 自分の将来について考えるとき, 自分が何を大切にしているのか, どんなことに興味があるのかを見つめ直すことができます。考えることで, 自分自身をよりよく理解し, 目標を明確にすることができます。

### 4 他者とのコミュニケーション

考えることは, 他者とのコミュニケーションにも役立ちます。例えば, 友達と意見を交換するとき, 相手の意見を理解し, 自分の意見を整理して伝えることが大切です。考えることで, より深い対話ができ, お互いの理解が深まります。

生徒の皆さんには, 考えることの大切さを忘れずに, 日々の生活や学びの中で積極的に考える時間を持つてほしいと思います。考えることで, 自分自身を成長させ, 新しい発見や学びを得ることができます。

学校では, 現在, 教育相談を実施していますが, 受容・共感・傾聴の姿勢で生徒の相談に対応しております。

御家庭におかれましてもお子さんの考えや思いに寄り添って, 困っていたら一緒に考えていただくとありがたいです。お子さんのことで御心配なこと等がございましたら, 遠慮なく学校に御相談いただくとありがたいです。よろしく申し上げます。

## 生徒総会

5月23日（金）体育館で生徒総会を実施しました。全ての生徒が積極的に参加し、本部役員が提案する議案に対し理解した上で承認がなされたと思います。学校に対する要望の特別議案では、お互いに意見を出し合い、生徒がより良い学校生活を目指していることがとてもよく伝わってきました。今後、一致団結して生徒会活動を推進して行ってほしいと思います。



【自分の意見を堂々と述べる生徒】

## 6月

の主な行事



河頭中マスコット  
「ゆめは」

- 2日（月）小中連携研修会 ※ 特別校時・部活動中止
- 4日（水）1年集団宿泊学習【1泊2日】
- 5日（木）上級学校ガイダンス【公立高校】
- 6日（金）上級学校ガイダンス【私立高校】  
1年休養措置日
- 9日（月）夢南風③④
- 10日（火）市総体1日目 ※ 給食後，下校
- 11日（水）市総体2日目 ※ 給食後，下校
- 12日（木）市総体3日目 ※ 通常授業
- 14日（土）土曜授業 夢南風②③
- 17日（月）全校朝会 創意エイサー活動⑤⑥
- 18日（水）テスト期間部活動中止～27日（金）
- 25日（水）1学期末テスト1日目
- 26日（木）1学期末テスト2日目
- 27日（金）1学期末テスト3日目
- 29日（日）第1回資源回収



## いつも通りとは限らない…

人は普段の生活の中で「いつもこうだから」と何も考えず無意識に行動することがあります。また、相手に対して、「この人はこういう人だから」と決めつけて接することもあります。

ある日、Sさんが、幼稚園に子どもを迎えに行くと、先生から「すみません。実は今日、園児同士のけんかがありまして…」と。その話を聞いて思わず「うちの子が相手に悪いことをしたからですね。申し訳ありませんでした。」と子どもの話も聞かずに答えました。

帰宅後Sさんは、子どもから「何でお父さんはいつも僕が悪いって言うの…」と言われ、自分の浅はかな言動が子どもを傷つけたと反省しました。「決めつけてごめんね」と謝り、日頃の自分の姿を顧みました。仕事でも「いつも通りでいいだろう」「あの人は何を言っても仕方がない」などと最初から決めつけて、改善を試みてこなかったことに気付いたSさん。これを機に、心新たに家族や仕事と向き合うことを決めたのでした。